

2022年秋

**「学習の3段階理論」を身に付けよう  
「理解」「定着」「応用」  
一生役に立つ効果の上がる学習方法**

---

開倫塾 塾長 林明夫

Q 1 : はじめに一言どうぞ。

- A : (1) 「学習の3段階理論」とは、「学習を『理解』・『定着』・『応用』の3段階に分け、効果の上がる学習方法を具体的に示したもの」です。
- (2) 小学校・中学校・高校はもちろん、大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院で学ぶときや、学校を卒業後に社会に出て仕事や社会的活動をするとき、充実した人生を送るときにも役立つ学習方法です。
- (3) 「学力」とは、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」と考えます。
- (4) 「学習の3段階理論」を活用して、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」をしっかりと身に着けましょう。そして、「多様な選択肢のある人生」を歩み、「正常に機能する社会の形成」に貢献しましょう。

Q 2 : 第1段階の「理解」とは何ですか。

- A : (1) 「理解」とは、「うんなるほどと、よくわかること、納得すること、腑(ふ)に落ちること」です。

＜「授業中」の「理解」の方法とは＞

- ①授業中は、手を机の上に置き、先生の目と口元を見て、熱心に授業を聞くこと。
- ②先生の指示に従い、積極的に授業に参加すること。
- ③大切なことは、すべてノートにメモを取ること。



- (2) 「復習」とは、「授業で学んだことを、その日のうちに、もう一度やり直すこと」です。

＜「授業後」の「復習」での「理解」の方法とは＞

- ①教科書や教材、問題集、授業中に取ったノートなどを、一語一語、もう一度読み直すこと。
  - ②計算や問題は、もう一度解き直すこと。
  - ③意味のよくわからない語句や内容は、辞書や用語集、教科書、参考書で調べる。調べたことはノートに書き写し、その場で覚えること。
- \* 「授業前の短い時間」にも、それまでに習ったことを「復習」し、授業に臨みましょう。

- (3) 「ノート整理」とは、ノートをあとで学習しやすいように整理しながら、「理解」を深めることです。

- ①「ノート」は、あとで学びやすいように「ノート整理」に励みながら、「理解」を深めましょう。
- ②大切な語句や内容には、「マーク(印)」を付けること。定規を用いて線などで囲むこと。
- ③あとで調べたことは、ノートの余白に書き足すこと。余白がなければ、ポストイットや別の紙に書き足して、ノートに貼り付けること。



※ノートは英語で notebook といいます。いろいろ工夫し、書き加えながら一生使える My Notebook を作り上げましょう。

(4) 「予習」とは、「授業の内容を予め自分の力で学習すること」です。

＜「予習」での「理解」の方法とは、＞

- ①意味のよくわからない語句や内容があったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書や用語集、教科書、参考書でよく調べる。調べたことはノートに書き写し、その場で覚えること。
- ②計算や問題は、自分の力で、「ノート」に解いてみる。
- ③「よくわからないところをはっきりさせてから、授業に臨む」ことが、「予習」の目的です。



(5) おすすめ

- ①「予習」の段階でも、「定着のための3大練習」（「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」）に励み、しっかり身に着け（定着させ）ましょう。
- ②「授業直前の短い時間」にも、その日の学習範囲をしっかり「予習」し、授業に臨みましょう。

Q 3 : 第2段階の「定着」とは何ですか。

A : 「定着」とは、「うんなるほどと、よく『理解』できたことを確実に身に着けること」です。それには、「定着のための3大練習」が効果的です。

＜「定着のための3大練習」とは＞

(1) 「音読練習」…「スラスラとよく読めるようになるまで、声に出して繰り返し読む練習をすること」。

\*何も見ないでスラスラといえるまでにする「暗誦(あんしょう)」を目指しましょう。



(2) 「書き取り練習」…「楷書(かいしょ、教科書の書体)で、書き順も含め、正確に書けるようになるまで、繰り返し書く練習をすること」。

\*暗誦した内容を何も見ないで書けるまでにする「暗記」を目指しましょう。

(3) 「計算・問題練習」…「なぜそのような答えになるのかがよく『理解』できた計算や問題は、見た瞬間に条件反射で正解が出てくるまで、繰り返し同じ計算や問題を解く練習をすること」。

\*パッパッパッと条件反射で正解が出るまで、練習しましょう。

『定着のための3大練習』は、『不可能を可能』にする

Q 4 : 第 3 段階の「応用」とは何ですか。

A : 「応用」とは、「理解」「定着」した内容を用いて、  
①「学校の定期試験などのテストで、『よい点数(100 点満点)』が取れること」  
②「入学試験や国家試験、資格試験などで、『合格点』が取れること」  
③「社会で活用できること」です。

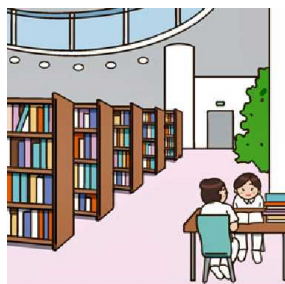
- (1) 学校の定期試験などのテストで、全教科『よい点数(100 点満点)』を取る方法とは、  
①「定着のための 3 大練習」をやり抜くこと。  
②出題範囲について「スミからスミまで覚える」こと。  
③テストの 1 ~ 2 か月以上前から、全教科準備をすること。

- (2) 入学試験や国家試験、資格試験などで『合格点』を取る方法とは、  
①過去に出題された問題(過去問)を 5 ~ 10 年分、5 ~ 6 回解くこと。  
②間違えた問題は、「間違いノート」を作成すること。  
③大切な問題は徹底研究し、「まとめノート」を作成すること。

\* 一度解いた問題は、学校の教科書と同様「予習」「復習」をして十分に「理解」、「定着」のための 3 大練習をし、スミからスミまですべて「定着」させること。

- (3) 「社会で活用できる力」を身に着ける方法とは、  
①学校で勉強するすべての教科の内容は、上級学校や社会ですべて役立ちます。一生役立ちます。  
②ですから、学校で用いた教科書や教材、ノートは、学校を卒業後も絶対に処分しないこと。  
③学校の授業や学生時代の勉強を思い出し、社会に出てからも一生かけて、繰り返し学び直すこと。

- \* 一番役立つのは、学校時代の教科書、教材
- \* 図書館の活用 !!



Q 5 : 「学習方法」と同時に大切なことは何ですか。

A : (1) 「自覚」をもって学習すること。

\* 特に受験生は「自分は受験生だ」という受験生としての「自覚」を持ち、受験勉強に励むこと。



(2) 「読解力」を身に着けること。

① 「辞書」を用いて「ことばの数」「語彙(ごい)数」を増やすこと。〈ことばは力〉です。

\* 調べた内容は意味調べノートやカードに書き写し、いつも1ページ目、1枚目から読み直し、すべて覚えましょう。

\* 1日10回国語辞典、1日10回英和(英英)辞典を引きましょう。

② 「新聞」を毎日30分以上読み、「自分で考える力」「批判的思考(クリティカルシンキング)能力」を身に着けること。

\* 興味のある記事は、切り取って「スクラップブック」に貼り付け、意見・感想・コメントを書いて、繰り返し読み直しましょう。

③ 「読書」を毎日行い、「思慮深さ」「省察力」を身に着けること。

\* 大切な語句や文章は、「書き抜き読書ノート」に書き抜き、折に触れて1ページ目から読み直しましょう。



(3) ハードな「長時間自己学習」も時には大事。

① 「1日8時間主義」(学校の授業がある日)

② 「1日12時間主義」(学校の授業がない日)

③ こまかな時間をうまく利用し、学習時間を確保すること。

「学習効果」 = 「本人の自覚」 × 「学習方法」 × 「読解力」 × 「学習時間」



**Q 6 : 学習方法を工夫すると成果は出ますか。**

A : (1) 「学習の 3 段階理論」を参考に学習方法を工夫すると、短期間でも、必ず一定の成果が出ます。

(2) しかし、やり通すには、「主体的に学ぶ力」と、かなりハードな「長時間自己学習」が求められます。「学習の 3 段階理論」を活用して、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」をしっかりと身に着けましょう。



(3) 「主体的に学ぶ力」が身に着くと、

- ① 「多様な選択肢のある人生」を歩むことができます。
- ② 「正常に機能する社会の形成」に貢献することができます。
- ③ 自分の未来は、自分で切り開く。あきらめたらおしまいです。がんばりましょう。

＜ここでちょっと一休み、コーヒーブレイク＞

今までのお話の中で参考になることがありますか。あったら 3 つ書いてください。

(1) \_\_\_\_\_

(2) \_\_\_\_\_

(3) \_\_\_\_\_

**Q 7 : 最後に一言どうぞ。**

A : (1) ここにお示した学習の仕方は、小学校や中学校や高校だけでなく、高校を卒業したあと大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院で学ぶときに役立ちます。

(2) 社会に出て仕事をしたり、社会的な活動をするときに役立ちます。人生を充実して生きる上でも役立つものです。

(3) 開倫塾で学ぶ間に、少しずつでもこの「学習の 3 段階理論」に親しみ、御自分の学習習慣として身に着け、役立ててください。